

わくわくスポーツ

平成30年
3月31日発行

登録団数 77団
指導者 384名
団員数 1353名
(男1027 女326)

「スポーツ大好きつ子を増やしましょう」

副本部長 野村 栄作



「この二月、三月は、お隣の韓国からうれしいニュースがいっぱい届きました。そう、平昌冬季オリンピック・パーク・ピックの話です。大怪我から復帰し新聞の号外にもなった2大会連続の金メダル選手、個人では叶わないが、チームワークで金メダルを得た選手、金には届かなかったが、その力を出し切った銀メダル・銅メダルの選手、そして、メダルには届かなかったが、苦しい練習を乗り越え、オリンピックやパラリンピックの舞台に立つたたくさん選手、全ての選手を応援することはできませんでしたが、選手たちは、応援している私たちに多くの感動を与えてくれました。また、選手の方から飛び出す第一声は、すべて「感謝の言葉」でした。一番頑張ったのは、本人であり、自分自身を褒

めるべきなのに、そうではなく「感謝」の気持ちで誰しもが伝えていました。オリンピックのようなチャンピオンシップスポーツだけでなく、私たちは、様々なスポーツを通して、「できた。」という成就感を味わうことができます。この成就感が、次へのエネルギーとなります。そして、「感謝の気持ち」は、正しい勝敗感、スポーツマンシップに繋がると考えます。私たちが組織しているスポーツ少年団は、あらゆるスポーツの底辺を支える組織だと思っています。実は先日、スポーツ界の底辺を支え、裾野を広げる光景を目の当たりにしました。それは、一月二十八日に行われた「スポーツ少年団体力づくり大会」でのことです。マラソンに、就学前の児童が数名参加し、一生懸命、小学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんたちを追いかけている姿でした。昨年度から入団できる年齢を三歳からと改革した成果が出ているのだと思いました。子どもたちの体力低下が問題視されてい

る中、小さい頃からスポーツに触れ、その楽しさややりがいを持たせることは、大切なことです。そういった意味からもスポーツ少年団の果たす役割は、とても大きいと思います。もちろん、競技によつて練習の仕方や目的は変わるとは思いますが、前述した「成就感を味わわせること」と「感謝の気持ち」を培うことは、全てのスポーツの目標だと思います。そして、この成就感や正しい勝敗感、感謝の気持ちは、子どもたちの社会性を育てる糧だと考えます。

指導者のみなさん、子どもたちからの「やったー、できたー！」の笑顔と「ありがとう」の笑顔と「あーのあいさつをエネルギーに、これからも「スポーツ大好き少年少女」を育てていただきます。よろしくお願ひします。



野外活動の様子



平成29年度全国・近畿大会派遣一覧

大会名	開催地	参加団・者
1 第30回近畿ブロックスポ少軟式野球交流大会	淡路佐野運動公園	西大寺ドリームズ
2 第11回全国中学生少林寺拳法大会	守口市民体育館	青木羅至(少林寺拳法奈良東市)
3 第26回全国小学生バドミントン選手権大会近畿ブロック予選会	府民共済SUPERアリーナ	鴻ノ池中央バドミントン7名・登美ヶ丘バドミントン6名
4 第18回全国小学生ABCバドミントン大会	北海きたえーる	佐野晃佑・柳生紗羽海(鴻ノ池中央バドミントン)
5 NPBガールズトーナメント2017	さいたま市	丸井更紗(西大寺ドリームズ)堂前凌那(平城)
6 第22回高野山旗全国学童軟式野球大会	高野山	平城
7 第41回近畿少年軟式野球大会	みなと堺グリーンひろば	(学童の部)やまと (女子学童の部)丸井更紗・宇都宮姫(西大寺ドリームズ)
8 第26回全国小学生バドミントン選手権大会	広島グリーンアリーナ	佐野晃佑・柳生紗羽海(鴻ノ池中央バドミントン)
9 第16回日本バドミントンジュニアグランプリ2017	宇都宮市清原体育館	佐野晃佑(鴻ノ池中央バドミントン)
10 第20回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会	万博記念公園	三碓陸上
11 2018 U20日本室内陸上大会大阪大会	大阪城ホール	富田雅晴(三碓陸上)
12 平成29年度近畿ブロックスポーツ少年団剣道交流大会	貝塚市立総合体育館	(団体)鴻ノ池道場・奈良尚武館・奈良西少年剣道クラブ 大和青少年文化研修道場・習心館道場 (個人)前田隆太郎・三樹幸樹・上田匠一・伊東凜太郎・井手口力・都筑一葉・立花優太・木村咲良・待鳥稀花
13 第40回全国スポーツ少年団剣道交流大会	東京武道館	(団体)奈良市選抜 (個人)前田隆太郎(大和文研)三樹幸樹(鴻ノ池道場)
14 第42回近畿ミニバスケットボール交歓大会	野洲市総合体育館	鳥見ファルコンズ
15 第49回全国ミニバスケットボール大会	高崎アリーナ	明治ミニバス、辰市女子

体力づくり大会の様子



体力づくり大会

総務部会

堀内 大輔

平成三十年一月二十八日に第五十二回奈良市スポーツ少年団体力づくり大会が、ならでんフィールド外周コース・補助競技場で行われました。この大会は、日頃団活動で鍛えた体力を発揮して、全員が完走することを目指し、冬季における体力づくりと、健康の保持・増進に役立てることを目的に実施されています。

今年度は十三の団からおよそ二百二十人の参加申し込みがありました。男女各三年生以下・四年生・五年生・六年生・中学生の種別に分かれ、一・五kmのコースを力いっぱい走り切りました。団員達は、観客席から「がんばれ」「ファイト。」とたくさんの声援を受け、普段とは違う場所で、いつもと違った汗を流したことでしよう。団員からは「しんどかったけど楽しかった。」「来年も参加したい。」「来年も参加したい。」という声がありました。また、マラソンが終わった後はお楽しみコーナーがありました。今年度はO×クイズで、答えが正解だと思った方に、100m程ある距離を走ります。スポーツ

やアニメに関する問題等、幅広い内容で、見ている大人も楽しめるものでした。上位二十人にはスポーツタオルやかばん等豪華な賞品が貰えるということで、団員達は楽しみながらも必死に問題に答えるために走っていました。来年度はもっとたくさんの方から多くの団員達に会えることを楽しみにしています。結果は左の表です。



第52回奈良市スポーツ少年団 体力づくり大会 結果

平成30年1月28日(日)				
申込数 14団 225名		当日参加者157名		
入賞者一覧				
	氏名	団名	タイム	
3年以下男 39名	1 高井 篤生	三碓陸上	5分40秒	
	2 東條 颯介	三碓陸上	5分41秒	
	3 瀧岡 陽向	三碓陸上	5分42秒	
3年以下女 18名	1 江島 遥香	三碓陸上	6分14秒	
	2 三木 月葉	三碓陸上	6分25秒	
	3 水野 杏香	登美ヶ丘バドミントン	6分27秒	
4年男子 17名	1 中川 颯	三碓陸上	5分41秒	
	2 河嶋 大翔	三碓陸上	6分10秒	
	3 松田 英晃	三碓陸上	6分24秒	
5年男子 35名	1 瀧岡 英多	三碓陸上	5分28秒	
	2 中嶋 陸仁	帝塚山	5分35秒	
	3 宇治本 航	三碓陸上	5分38秒	
6年男子 11名	1 櫻井 湊	三碓陸上	5分00秒	
	2 森口 翔太	三碓陸上	5分16秒	
	3 富田 雅晴	三碓陸上	5分17秒	
中学生男子 1名	1 山西 悠雅	奈良西少年剣道クラブ	5分23秒	
4年女子 10名	1 中岡 愛理	登美ヶ丘JVBC	6分03秒	
	2 櫻井 育美	三碓陸上	6分20秒	
	3 福山 ななほ	三碓陸上	6分29秒	
5年女子 15名	1 今西 紗楽	三碓陸上	5分44秒	
	2 太田 垣 菜々	三碓陸上	5分45秒	
	3 久保田 優希	三碓陸上	5分49秒	
6年女子 10名	1 植田 百香	三碓陸上	5分34秒	
	2 貝本 梨瑛	三碓陸上	5分47秒	
	3 吉本 安寿	三碓陸上	5分48秒	
中学生女子 1名	1 小澤 二子	奈良西少年剣道クラブ	6分01秒	

野外活動教室

指導部会部会長

堀口 義彦

八月十七日(木)～十八日(金)の二日間平成二十九年奈良市スポーツ少年団野外活動教室が、奈良市野外活動センターと山添海洋センターで開催されました。本年度の参加者は女子七名男子三十九名の計四十六名でした。一日目は午前八時

奈良市役所に集まり出発式をした後、バスに乗って奈良市野外活動センターに到着しました。入所式を済ませて各班ごとにオリエンテーリングに出かけました。昼食後は、水着に着替えて、白砂川まで歩いて行きました。川の水は少なく、川の中に入って、生き物を探したり、水のかげ合いをしたりして楽しい時間も、あつという間に過ぎてしまいました。センターに戻って、夕食のカレー作りで

す。薪を取りに行く係りや鍋や飯合、材料を取りに行く係り、かまどで火を起す係りとそれぞれ役割分担をして、楽しく協力しておいしいカレーが出来ました。後片付けを全員で行い、お風呂に入ったりプレイルームで遊ぶなどそれぞれ時間を過ごしました。夜は楽しいキャンプファイアーです。今年度は大学生の指導者を招いて、楽しく盛り上がりつつあります。

一日目は午前六時三〇分に起床して、洗面を終えて朝のつどい、ラジオ体操その後、清掃活動。各班決められた場所の掃除を行い朝食の準備にかかりました。朝食を済ませ、後片づけを全員で行いました。午前のプログラムは、ストローを使った、エビの作り方を教えて頂きましたが、中々難しく、真剣に説明を聞きながら作品が完成しました。センターの退



所式を済ませ、バスに乗り海洋センターに到着しました。昼食のお弁当を頂き、カヌーとサツカーやドッチボールと今年には人数が多かったの二班に分かれて楽しみました。カヌーでは、初めて乗る子どもも上手に楽しく体験することが出来ました。後は、感想文を全員書く時間が有り、楽しかった二日間の思い出を振り返りながら書いていました。バスに乗って奈良市役所まで帰る一時間ほどの時間でしたが、ほとんどの子は疲れたのか熟睡していました。奈良市役所に到着してもまだ寝ている子もいました。解散式を済ませて名残を惜しみながら別れました。今年参加できなかった団員の皆さん来年はぜひ参加してください。

平成29年度
奈良県スポーツ
少年団顕彰表彰者
やまと 佐藤 昌和氏
大安寺アパッチライオンズ 山口 正氏
FC都南東市 Jr 岡田 義史氏

【単位団紹介】

西大寺ミニバスケットボールクラブ

DEERS

代表 池澤 延晶



西大寺DEERSは、二〇一四年に創部し五年目を迎える小学一年生から六年生を対象としたミニバスケットボールチームです。西大寺北小学校の体育館を拠点とし、西大寺北小学校・伏見小学校・あやめ池小学校等を中心に、他の小学校の子ども達も一緒に活動しています。

The Sky Is The Limit! をテーマに、子どもたちの無限の可能性を信じ、バスケットボールの技術だけでなく、仲間で助け合うこと、周囲の人への感謝・マナーや礼儀も身につくよう、スタッフと保護者が力を合わせて子ども達と全力で接しています。

バスケットボールはチームプレーです。子どもたちは、練習や試合を通して、ともに頑張り、ともに助け合うことで、メンバー同士の絆が深まり、最高のなかまとなっていくます。年度末には、メンバーと家族・スタッフや卒部生も集まり、卒部式を行って交流を深めています。他にも、状況に応じて、楽しいレクリエーションも行っています。

子ども同士も保護者同士も互いに支え合い、それを指導者・スタッフが支える「西大寺DEERS」で一緒にバスケットボールをしませんか？

【活動日】

・水曜日 一九時～二〇時半

・木曜日 一八時～二〇時半

・土曜日 九時～一三時

・日曜日 一七時半～二〇時

※その他公共の体育館でも練習します
※低学年は、二〇時まで。
参加曜日にも相談に応じます。

【連絡先】

〇九〇一七三六六一四七三四(池澤)